

## 地域のみちを育てる ワークショップ in 釧路 開催速報

### 開催概要

平成 20 年度 地域のみちを育てるワークショップ in 釧路が、平成 21 年 2 月 27 日（金）に釧路市生涯学習センター『まなぼつと幣舞』で開催されました。参加人員は 13 団体で約 35 名、育てる会委員 10 名、オブザーバーとして、釧路市、釧路土木現業所、釧路開発建設部から約 10 名、合計 58 名の参加がありました。会場は、その頃全国的に有名になった『ラッコのクーちゃん』が出没する幣舞橋の袂にあり、クーちゃんを一目見ようとする観光客が川岸や橋の上を埋めていました。



ワークショップではまず、主催者を代表して小林会長から「この会の開催が地域間の横のつながりと世代を超えたつながりに広がってゆく機会になればありがたい」旨のご挨拶がありました。

また、地元の佐藤実行委員長（釧路市新橋フラワー通り実行委員長）から「この会の開催により、釧路根室地域のみちを育てる活動が広く発信されることと、今後の活動に生かされることを期待する」旨のご挨拶がありました。



北のみち普請を育てる会 小林会長



佐藤実行委員長

参加者は 4 つのテーブルに分かれ、コーディネーターの進行のもと、「地域に人を呼ぼう！」、「ボランティア活動とまちづくり・人づくり」、「地域を元気にするためには」などのテーマについてディスカッションが行われ、本当に活発な意見交換の場になりました。



ワークショップの様子

最後に小林会長の講評では、『がんばらないけどあきらめない。これが町づくりに係わるうえで大事ではないか』。また、これからは『女性・老人・外国人』に目を向けた街づくりが重要ではないか。『何よりも、変わることを信じて継続していただきたい』とのお話がありました。

場所を変えた情報交換会では、各団体の代表の方から、活動状況や困っていることなどが聞かれ、オブザーバーの方々も貴重な情報収集の場となったようでした。



情報交換会の様子

なお、これらを収めた『ニュースレター Vol.11』は 5 月頃ホームページに掲載される予定です。